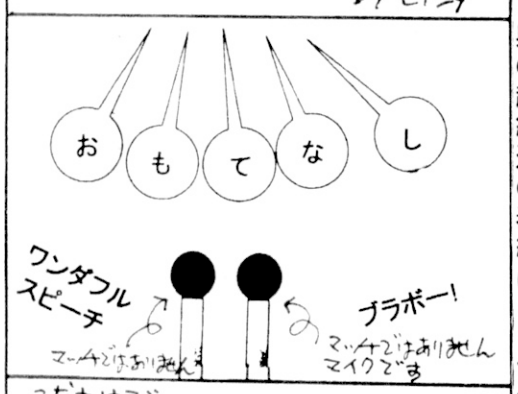
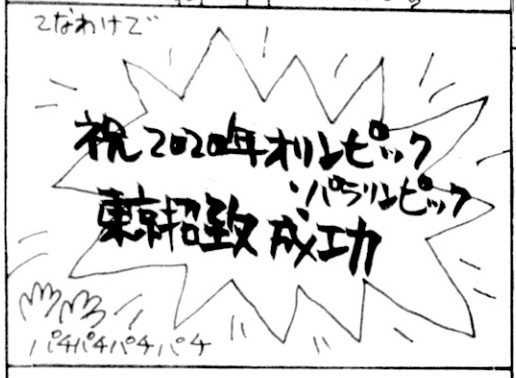
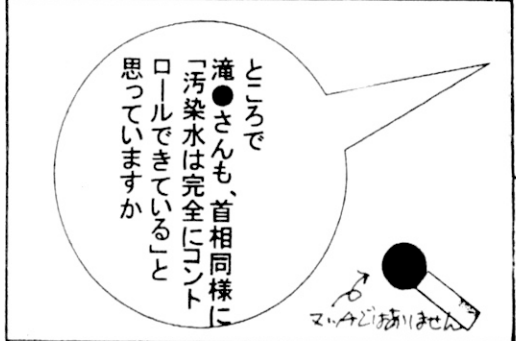
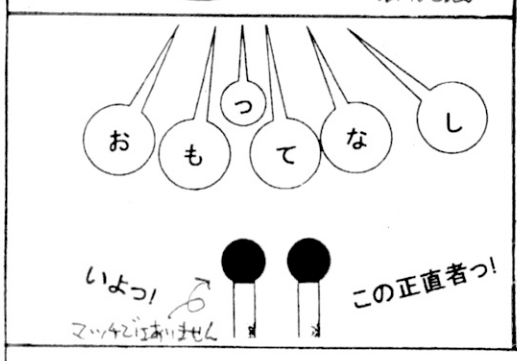
## ヤギッキくん

by モリシタ



予備ですね。組長もそれを察してか、宮崎町の里に下りました。

さて今晩の買出しと燃料補給です。組会御用達の地元ウジエスーパー小野田店、そして燃料・・・。しかし、スタンドが立続けに休みで、中新田まで下ってしまいました。ここまで来れば、ヨークベニマルやイオンがあり、昨日と同じ食材にならず、また小分けの食材もあるからいいのになぁとつぶやいてました。さて補給も終わり、今夜の宿・・・の前に、鼠沢・宇土沼林道を抜けますが、食料が増えたザックはバランスが悪く頭が重い状態です。座るとリアバックに当たりザックが斜めに・・・。仕方無くスタンディングで走り、田代林道分岐点に到着。昨日はここから少し走ったところに野営しましたが・・・、まさか同じところ? そんな訳はありません。分岐を昨日と違う方向へ走り、おもむろに左手の小高い土手を上る組長・・・。そして消えました・・・??? 何台か続きますが、土手を上ると渋滞。どうやら先は下りのようです。土手を越えると広い造成地、雨も上がり下界が見渡せる天空の地といったところです。バイブル野宿ツーリング2奥の超細道の表紙はここで撮影をしたそうです。と、いうことは・・・ジムニーであの土手を超えたことになる。組長、さすがです。

本日も乾杯をした途端に雲行きが怪しく、やっぱり屋根設営となりました。完成と同時に豪雨です。当然ながらボクのタープはお声も掛らず、快適な宴会場で健全なる時計回りが始まりました。ちょっと油断すると停滞するので、ボクの皿の上はオードブル状態です。7人が二品くらい作りますから、豪華な夕食に昼まで二日酔いだった事も忘れ、呑み続けてしまいました。火器の話になり大ブス利用率が下がっているようです。今回は地下鉄さん1名。カセットガスが4名、アルコール1名、ピーク1が1名。あれだけの大ブス利用率がガス派へ転進。組長もガスは便利ファッハハハと黄門様のように笑っていた。三倉さんのピーク1の激しさは、ガス利用者から野蛮人とか原始人と罵られていた。ご本人は野蛮人より原始人の方がいいと笑って応えていた。次回から三倉さんは三倉原始人と解明されるだろう・・・。そんな中BGMはカラオケ混じりの中島みゆき、オリビアニュートンジョンなどが響き渡ります。おはよう700や720の時代を語り、八重の桜の方言の違いにじぇじぇと叫び、体にアルコールを注入します。あぐらといびきを掻いたまま成仏する方もいて、心地よい疲労感と酔いで至福の時間を過ごせました。

雨は降ったり止んだりですが、時より叩きつける強さに屋根に溜まった雨水は行き場を失い、要らぬところを直撃。今晩もゴ三浦さん、地下鉄さんと浸水事故。組長は天幕の周りに溝を掘って対策済みです。朝食の時も雨は降り続き、河童隊で撤収作業になり、解散となりました。ここで組長は鳴子方面に向かうということで、同行させていただきました。二人っきりで向かう道は、二日間の雨で川のようになり、水しぶきを上げながら轍との格闘です。油断するとハンドルを取られスッテンコロリンです。民家も見え始めた空き地に組長のトランポが鎮座してました。地元人も知らないレアな場所を知っている事に驚かされます。

久しぶりに参加しても笑って受け入れてくれた組長、皆さんに感謝です。皆さんがどんな対応をされるのか不安でした。東北組三倉氏・佐藤氏とも逢え、参加して良かったと思いました。実はKTMのメーターが壊れて、距離も速度もまったく分からず、時計だけで行動してました。二日目は走行距離が160km越えだったそうです。久しぶりに走った林道は尻が痛く、KTMのパワーに振りまわされ、帰った日は爆睡でした。(笑)

記　金子3号

## 岩出山組会一人一言

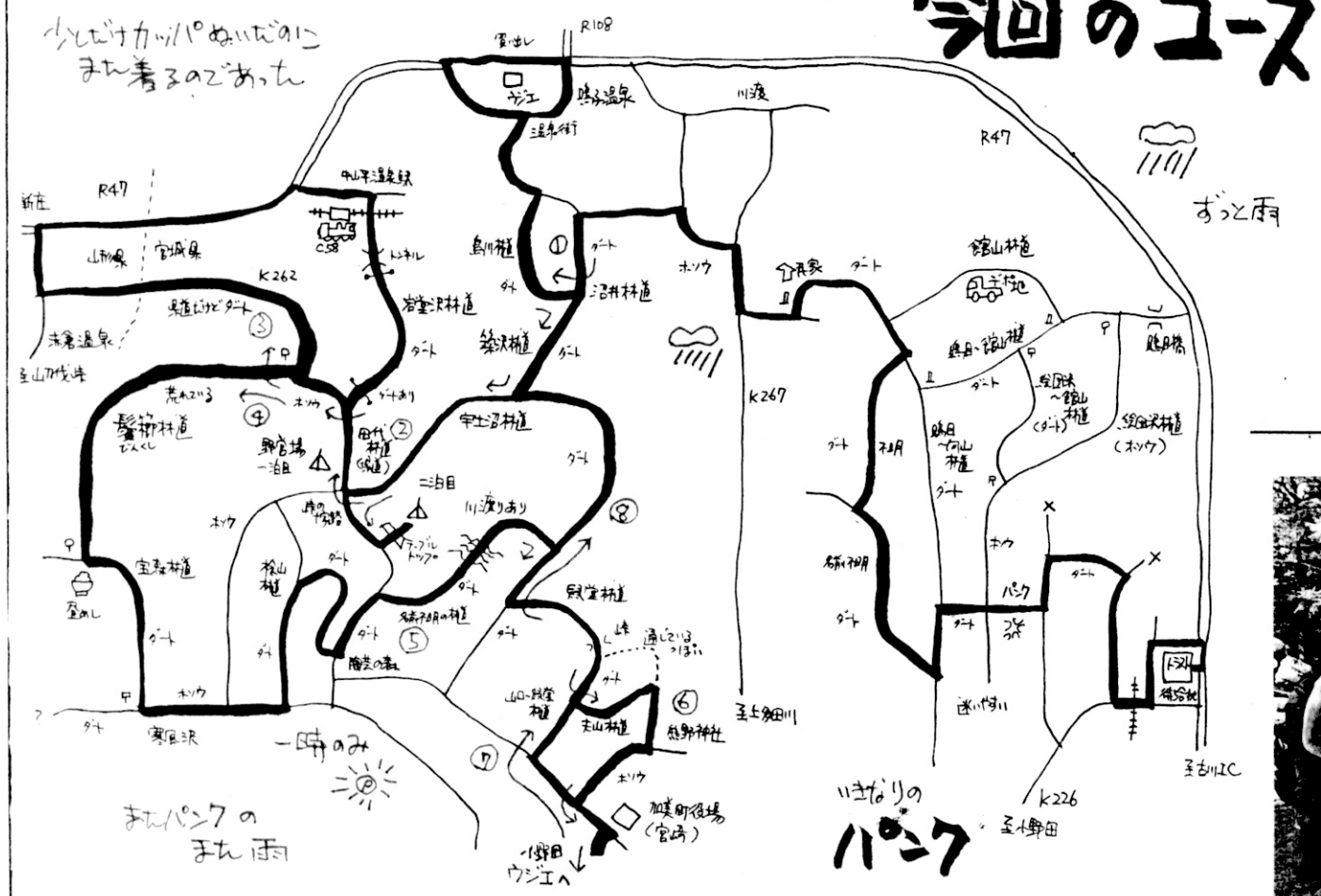
●まさかのパンク、まさかの出そうなキャンプ場、まさかの原始人扱い、まさかの2日連続パンク、まさかのC58撮影、まさかの川渡りセクション、まさかのテーブルトップセクション、まさかの大雨浸水被害、だから組会は面白い。(三倉)

●東北の、林道は、たくさんあって、最高でした!また、行きたいですね!。(オガタ)

●組長のパンクあり、川渡りあり、テーブルトップあり、テント内水没と久し振りに記憶に残る組会でした。やってみたいと思う方、「奥の超細道」特別編記事がほぼ同じコースです。みんなも水没しよう!。(地下鉄)

●怖いところの野営でおしっこに行けなかった(泣)(金子3号)

## 今回のコース




●二日目、見事に水没。やはり雨の時は、テントはちゃんと雨仕様に張り、水を逃がす溝も掘りましょう。あっ、それは宴会に突入する前にやっておかないと絶対ダメです。(ゴ三浦)

## 赤貧ブートキャンプinしらびそ 2012最終日レポート

by ひらりん

野宿地への帰路、再び隼人が廃校舎を発見し再度進入すると・・・そこは旧木沢小学校跡であり地元の方々により保存され一般の方も自由に見学が可能な物件となっていた。グラウンドには本日の夜に行われる盆踊り会場が設営されており、地域とのつながりを感じさせている。校舎の中は当時の学び舎の様子や地域の歴史資料、この地域に伝わる奇祭「霜月祭り」の展示もあり、じっくり見学させて頂いた。また教室の一つは昨年「引越しの○カイ」のコマーシャルの舞台として撮影された状態で保存・展示されており、撮影時のスナップや当のコマーシャルが繰り返しビデオで上映されていた。(山村の学校から転任する先生を追いかける生徒を目の当たりにして改めて仕事に邁進する引越し業者・・・のアレです)

私の住む信州は山間地域にも集落が点在しそれぞれに独自の生活習慣や文化を繋いでいましたが、高度経済成長期から始まった都市部への人口流出の影響をモロに受けて山村文化は壊滅状態です。この地域も最盛期は数千人の人口を抱え子供も数百人を数える一つの文化圏でありましたが、現在は厳しい状況が続いているようです。組会でよく蹴りセローで河合さんや村松岡さんとも話しますが、廃道や廃屋を訪ねてセローで山へ分け入りますと「こんな山のなかに集落跡がある・・・」「立派なお堂がひっそり埋れている・・・」等、先人の方々がその地域で営んだ痕跡を発見するたびに何とも言えない気持ちになります。経済優先や市場主義の中で次々失われていく山村や漁村で培われた教えや伝統、文化を自分たちの子供や次の世代に伝えていくにはどうすればいいか・・・。自分たちの足元をもう一度見つめ直す時期に来ていると思います。

(まだ続く)

編集後記

モリシタ画伯■今回こそはとタイムリーな話題を取り上げてみました。タイムリー過ぎて絵を描くヒマもなく字だけでおさめてみました。ゲージツ家というものはいつの時代にも理解されなくてハクがいを受けるものなのですが私も例外ではないようです。